

## 「サンパウロ障害者施設厨房及び食堂機材整備計画」 供与式

平成26年8月27日(水)、サンパウロ州サンパウロ市に於いて社会福祉法人「子供の園」に対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の供与式が開催されました。式典には80名の関係者や日系社会代表者、ジュンジ・アベ連邦下院議員、ジョージ・ハトウ州議会議員、頃末(ころすえ)・龍彦(たつひこ)・アンドレ団体理事長、当館福嶋教輝総領事らが出席し、団体の活動映像がご来賓の祝辞が述べられました。

会場:社会福祉法人「子供の園」 <Associação Pro-Excepcionais “Kodomo-no-sono”>  
住所:Rua Professor Hasegawa, 1198 - Bairro Itaquera - São Paulo (SP) CEP:08260-050

### 来賓の挨拶

頃末・龍彦・アンドレ理事長は、「「子供の園」は、職員及び団体関係者の努力と市民及び企業関係者に支えられ、なおかつ、日本政府の支援と共に創立56年を向かえることができた。今回の「草の根・人間の安全保障無償資金協力」により厨房機材を購入することができ、障害者の日常生活が改善される。あらためて、この協力を頂いたことに日本政府へ感謝の気持ちと敬意を表したい。」と謝辞を述べました。

ジョージ・ハトウ州議会議員は、「この度の協力は、「子供の園」が日頃から素晴らしい活動を行っている成果だと思う。お祝いの言葉とともに協力してくれた日本政府へ感謝申し上げる。」と述べました。

ジュンジ・アベ下院議員は、「私がモジ・ダス・クルーゼス市長を勤めていた時に、やはり同市の団体が草の根・人間の安全保障無償資金協力により子供たちの教育環境が改善された。私は他の日系政治家と力を併せ、活動的な団体へ様々な支援をすることを目標にしている。この度の協力に対し日本政府へ感謝を申し上げる。」と挨拶を行いました。

福嶋総領事は、「日本政府として今後も日系団体を支援していきたいと思っている。今月、安倍総理がサンパウロを訪問された際に、日系団体の活動に感動され、支援の輪を広げたいと述べていた。草の根・人間の安全保障無償資金協力を通してブラジル日系社会も支援していきたいと考えている。このような協力を通して日本とブラジル日系社会の繋がりがより一層深まる機会になれば嬉しく思う。」と挨拶しました。

来賓の祝辞について食堂で ODA マークの序幕がありました。

### 供与式写真



(供与式出席者及びこどものその入園者)



(供与式出席者)



(福島総領事と頃末理事長(右)による ODA プレート除幕)

(お問合せ先)

在サンパウロ日本国総領事館経済班

(0xx11) 3254-0100

[cgjeconomia2@sp.mofa.go.jp](mailto:cgjeconomia2@sp.mofa.go.jp)

案件の概要:

(1) 社会福祉法人「子供の園」は1958年に設立され、現在75名の知的・身体障害者の保護、教育及び医療的サポートを行っています。当初日系人の心身障害児童の保護を目的に運営を開始しましたが、その後右児童の成長に合わせて大人の収容者も増え、また非日系ブラジル人の収容も開始し、現在に至っています。

(2) 現在、障害者が使用している厨房と食堂機材のほとんどは過去に寄付された木製のものであり、老朽化及び破損が顕著であることからステンレス製のものに交換する必要性がありました。また、厨房及び食堂の設備を整えることによって衛生面が改善され、食中毒などの危険性を軽減する効果も期待できます。

この度の供与式は、同団体に対し、48,061米ドルを草の根・人間の安全保障無償資金協力として協力したことにより、男女両施設の厨房及び食堂機材整備を行ったことに関し、関係者への披露を行うものです。